21 株式会社 三和歯車

ステンレススプロケット歯切り加工

オーダー歯車製造・ステンレス加工に強み

平成25年度 補助事業と具体的成果

■ 事業テーマ

最新門形マシニングセンタの導入による火力・風力発電設備部品の生産体制拡充計画

■ 事業概要

ものづくり補助金を活用し、最新の門形マシニングセンタを導入。需要増が見込まれる火力・風力発電設備部品である大型歯車の生産体制を拡充した。大型歯車の加工について、これまで部分的に外注していた工程を内製化できたことで、納期短縮と低コスト化を実現。これにより大型歯車の製造において、材料から製造までの自社一貫生産体制が整った。今後の売上げと利益の増大を目指す。

門形マシニングセンタを導入

課題	取組	成果
●火力・風力発電設備に使用される大型歯車の製造において、同社の現有設備では加工できない工程があり、これまでは外部業者に加工依頼せざるを得なかった。	●導入した最新門形マシニングセンタを使用して大型歯車の効率的な製造について、トライアンドエラーを繰り返し、内製化を実現する生産体制の確立に取り組む。	●大型歯車の製造について、これまで部分的に外部に委託していた加工を自社で行えるようになり、自社一貫生産体制が整った。納期短縮と低コスト化が可能となり、利益向上に繋がった。

業務内容

歯車製造を中心に幅広い機械加工を手がける

スプロケットやギア、プーリーなどの各種歯車製品やラックの製造を主事業に、マシニング加工やワイヤーカットなど幅広い機械加工を手がける。多品種のオーダー品を得意とするが、特にステンレス製のスプロケットやラックなどは純国産の標準品として多くの在庫を準備。食品や自動車、半導体関連など幅広い分野で素早い顧客対応を行っている。とりわけ食品関連はステンレス製品の利点が生かせることから、同社売上げの３割を占めている。

各種歯車製品

時代に応える技術革新で攻めの姿勢貫く

歯車製造を主軸に、現在の事業へと業容を拡大したのは３代目である現社長の仲龍彦氏。創業者である祖父が会社の舵を握っていた頃は、染色整理機や製紙機械などの製造・販売を手がけ、戦時中には軍事工場として、海軍船艦用の高圧バルブの製造にも携わっていた。現在の仲社長が会社の代表に就く頃には、時代の流れが中国などの低価格な製造ルートへと移ったため、大手が手を出しづらい多品種のオーダー品を手がけることにした。これが奏功し、顧客からの信頼を獲得。事業の拡大発展に繋がった。時代とともに変化するニーズに応えるため設備投資にも余念がなく、最近では門形マシニングセンタを導入。火力・風力発電設備向け大型歯車の生産体制を拡充した。攻めの姿勢で常に技術革新に取り組んでいる。

強みとビジョン

多品種小ロットのオーダー品で他社と差別化

ステンレス部品の機械加工や歯車加工を得意とし、小物から大型の製品オーダーに対応する。ステンレス部品についてはSUS304を使用した純国産の標準品も多く在庫しており、短納期に対応できる。一方、オーダー品については近年、大型の歯車加工や、精密加工へのニーズが拡大しており、これに応えるため、設備を拡充。材料から完成品までの自社一貫生産体制を構築し、製造現場での低コスト化と納期短縮を実現した。顧客ニーズの主流が中国などの低価格な量産品へと移行する時代にあって、いち早く多品種小ロットのオーダー品対応で他社との差別化を図った同社の技術力は、大手チェーンメーカーや造船会社など取引先から高く評価されている。

ラックギアのNC歯切盤

ステンレス加工と大型歯車加工の強みで需要を喚起

ステンレス加工に強みを持つことから、同社売上げの約３割が食品製造ライン向け。仲社長は「錆びない、衛生的など、ステンレスの優位性を生かせる分野で新たな需要を喚起していきたい」と先を見据える。仲社長の右腕として手腕を発揮する取締役の仲祐槻営業部部長は「豊富な設備を活用した大型歯車の自社一貫生産体制が何よりの強み。火力発電や風力発電の設備向けで今後の需要増を期待している」と力を込める。

ターニング旋盤にて孔仕上げ

技術とアイデアで理想の歯車を提案する

創業以来、時代の流れと共に変化する顧客ニーズに応えるべく、常に新しい技術を研究し、新しい設備を導入してきました。今では、高い品質と技術が求められるオーダー歯車の幅広い要求に応えられると自負しています。これからも、技術とアイデアで理想の歯車を製造できるよう、研究を重ねていく考えです。

●社　名　株式会社 三和歯車
●代表者　代表取締役社長　仲 龍彦
●住　所　〒534-0011 大阪市都島区高倉町3-9-1
●ＴＥＬ　06-6925-1900　●ＦＡＸ　06-6925-2400
●資本金　10,000千円　●従業員　20名
<<< 代表取締役社長　仲 龍彦

http://www.sanwa-gear.com/

●主な取引先　チェーンメーカー、造船会社
●主な保有設備　門形マシニングセンタ、マシニングセンタ、NC旋盤、歯切り盤、ワイヤーカット
●主力製品　各種歯車、ラック、チェーンホイル

短納期　企画力　小ロットOK　オンリーワン技術　量産OK　試作OK　連携力

REPORTER'S EYE

時代に合わせた技術と製品で事業を拡大し、会社の舵を握っているいわゆる“技術屋”の仲社長。ここに大手飲料品メーカーで営業に携わっていた長男の祐槻氏が加わったことで、互いの得意分野を生かし、不得意分野を補い、営業管理部門が強化された。デジタル化の推進、製造現場の効率化・自動化への取り組みなど親子二人三脚の経営で、今後の新たな事業展開が期待できる。